

淀川水系流域委員会

平成25年度進捗点検結果説明資料 【人と川とのつながり(桂川)】

平成27年1月27日

近畿地方整備局

平成26年度 第2回淀川水系流域委員会 説明資料【人川(桂川)】

	点検項目	観 点	指 標	平成25年度 進捗	本文頁
1	日常からの川と人の つながりの構築	「住民参加推進プログラム」の策定状況	住民参加推進プログラムの検討内容	有り	P.11
2		住民・住民団体(NPO等)との連携状況	河川愛護活動等の実施内容・回数	有り	P.13
3		河川レンジャーの進捗状況	河川レンジャー選任システム・在籍人数	有り	P.16
4			河川レンジャーと住民・住民団体との交流内容・回数	有り	P.20
5		子供達の関わりを促進する取組の実施状況	環境教育等の実施内容・回数	有り	P.25
6		情報公開の状況	情報公開の内容・件数	有り	P.30
7		情報発信方法の検証	HP、携帯サイトの内容・利用件数	有り	P.31
8			HP、携帯サイトにおける新着情報の内容・アップ数	有り	P.32
9		情報公開発信に関する職員の意識向上	研修等の内容・開催数	有り	P.33
10		意見聴取手法の開発に向けた取り組み	住民、住民団体との交流内容・回数	有り	P.34
11	憩い、安らげる河川を目指した河川事業の実施状況	小径(散策路)、「歴史文化の薫る散歩道(仮称)」の整備状況	小径(散策路)の整備内容・延長	無し (利用と重複)	P.38
12			バリアフリー化の内容・実施箇所数	無し (利用と重複)	P.40
			河川を安心して利用できる整備内容・箇所数	無し (利用と重複)	P.40
13		三川合流部の整備状況	三川合流部交流拠点の整備内容	無し (利用と重複)	P.42
14	良好な水辺まちづくりに資する河川事業の実施状況	高規格堤防の整備内容・延長	該当無し (治水と重複)	P.43	
15	洪水・災害時の人と川との つながりの構築	破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の整備状況	まるごとまちごとハザードマップ, 浸水実績及び想定表示看板 設置内容・設置数	無し (治水と重複) 【第3回で説明】	P.47
16			自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報 伝達体制の基盤整備内容・団体数	無し (治水と重複) 【第3回で説明】	P.50
17		関係機関との連携状況	協議会等の設置状況	有り (治水と重複)	P.54

平成26年度 第2回淀川水系流域委員会 説明資料【人川(桂川)】

	点検項目	観 点	指 標	平成25年度 進捗	本文頁
18	上下流の連携の構築	水源地域ビジョンの推進状況	水源地域ビジョン策定とその後の活動内容・回数	有り (利用と重複)	P.58
19		上下流交流を促進するための活動状況	交流(水源地ネットワーク)実施内容・回数	有り	P.63

日常からの川と人のつながりの構築

【観点】「住民参加推進プログラム」の策定状況

「指標」住民参加推進プログラムの検討内容

【住民参加推進プログラムに基づく活動事例】

【淀川河川事務所】

桂川本川および流入する支川等において、淀川河川事務所、沿川自治体と河川レンジャーが連携・協働し、小学校児童を対象とした「環境学習会」を平成17年度から、「防災学習会」を平成24年度から実施している。平成25年度には、小学校からの要請に応じて、環境学習では主に現地体験型の活動を実施。生物観察を通じ河川の生態系など環境について学んだ。防災学習では、水害発生時の心得と避難の重要性を講義と水害体験施設による体験で学んだ。

平成25年度の実施回数は11回、参加者は延べ1,015名。



淀川河川レンジャーホームページ <http://www.river-ranger.jp/index.php>

進捗状況	点検結果
<p>(平成25年度の取組)</p> <p>平成25年度は、淀川河川事務所管内では、平成21年度に策定した淀川住民参加推進プログラムに基づき、河川レンジャーによる意見交換会を含むワークショップの開催や現地見学会を実施した。</p> <p>琵琶湖河川事務所管内では、住民団体主催イベントで事務所事業(洗堰操作)の情報発信を実施した。</p> <p>木津川上流河川事務所管内では、河川レンジャー活動を通じて、住民参加による水生生物調査、水防技術講習会及び河川の現況を知って貰う活動等を実施した。</p> <p>猪名川河川事務所管内では、河川レンジャー活動を通じて、水質一斉調査や猪名川水環境パネル展、意見交換会、外来植物の駆除活動を実施した。</p>	<p>各事務所管内で住民参加推進プログラムに基づき、河川レンジャー活動を起点とし、人と川とをつなげる活動を推進している。</p> <p>引き続き、住民と行政の相互理解を深め、効率的な河川管理を進める対策として推進していく。</p>

日常からの川と人のつながりの構築

【観点】住民・住民団体(NPO等)との連携状況

「指標」河川愛護活動等の実施内容・回数

【河川愛護活動等の実施事例】

【淀川河川事務所】

淀川河川事務所管内では、「桂川クリーン大作戦」を河川レンジャーが中心となり、平成19年度より実施しており、平成25年度で7回目を開催した。回数を重ねるごとに活動範囲や参加団体、後援団体等が増加しており、平成25年度も平成23年度から3年連続で3,000名を超える参加があった。

実施年	第1回 平成19年度	第2回 平成20年度	第3回 平成21年度	第4回 平成22年度	第5回 平成23年度	第6回 平成24年度	第7回 平成25年度
参加者数	450人	1500人	2800人	2934人	3300人	3400人	3400人
参加団体数	26	64	102	149	160	213	213
ゴミ回収量 (3tトラック換算)	—	—	121t (40台)	76t (26台)	72t (24台)	82t (28台)	127t (43台)
清掃実施区域	嵐山～ 大山崎	嵐山～ 大山崎	嵐山～ 大山崎	八木～ 大山崎	南丹市～ 大山崎	南丹市～ 大山崎	南丹市～ 八幡市

桂川 桂橋右岸



淀川河川レンジャーホームページ <http://www.river-ranger.jp/index.php>

【日吉ダム】

日吉ダムでは、水源地域ビジョン連絡会の連携活動の取り組みとして、集中取組期間(9月～11月)を設けて関係機関によるダム周辺地域の統一清掃(12月)を実施したほか、桂川クリーン大作戦(2月)を実施した。

清掃には日吉ダム管理所職員12名が参加し、2tトラック3台分の不法投棄によるゴミを回収した。

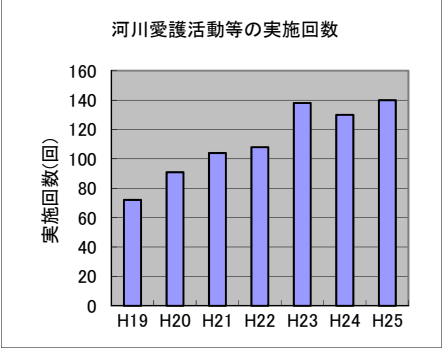


不法投棄されたゴミを回収する様子

日常からの川と人のつながりの構築

【観点】住民・住民団体(NPO等)との連携状況

「指標」河川愛護活動等の実施内容・回数

進捗状況	点検結果																
<p>(平成25年度の取組)</p> <p>平成25年度は、流域全体で140回の河川愛護活動等を実施した。</p>  <table border="1" data-bbox="159 421 600 770"> <caption>河川愛護活動等の実施回数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実施回数(回)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H19</td><td>70</td></tr> <tr><td>H20</td><td>90</td></tr> <tr><td>H21</td><td>105</td></tr> <tr><td>H22</td><td>110</td></tr> <tr><td>H23</td><td>140</td></tr> <tr><td>H24</td><td>130</td></tr> <tr><td>H25</td><td>140</td></tr> </tbody> </table> <p>平成25年度の代表事例を以下に示す。</p> <p>淀川河川事務所管内では、淀川わんどクリーン大作戦、嵐山地区水草除去、イタセンパラ保全活動、桂川クリーン大作戦、淀川わいわいガヤガヤ祭、LOVE遊淀川上流クリーン作戦、河原の野鳥観察等を行った。</p> <p>琵琶湖河川事務所管内では、淀川ダム統合管理事務所と連携して瀬田川クリーン作戦を行った。</p> <p>木津川上流河川事務所管内では、NPO、三重県及び名張市等と名張クリーン大作戦を実施し、全体で4,712人によるゴミ収集を実施した。</p> <p>猪名川河川事務所管内では、流域の24箇所「猪名川クリーン作戦」、尼崎市等が主催の猪名川・藻川を清掃対象としている「園田地区わがまちクリーン運動」に猪名川河川事務所として職員が参加した。</p> <p>淀川ダム統合管理事務所管内では、天ヶ瀬ダムを紹介することを目的として、宇治観光ボランティアクラブとの協働で、「天ヶ瀬ダム・天ヶ瀬発電所見学ハイク」(6月7日)を実施した。また、11月に宇治市歴史資料館において、パネル展示展「天ヶ瀬ダムってなに？」を実施した。</p> <p>日吉ダムでは、水源地域ビジョン連絡会の連携活動の取り組みとして、集中取組期間(9月～11月)を設けて関係機関によるダム周辺地域の統一清掃(12月)を実施したほか、桂川クリーン大作戦(2月)を実施した。</p>	年度	実施回数(回)	H19	70	H20	90	H21	105	H22	110	H23	140	H24	130	H25	140	<p>住民・住民団体(NPO等)との連携としては、河川愛護活動等の実施回数が増加傾向にあるため、河川愛護活動等を通じて情報共有が積極的に行われている。</p> <p>今後、さらに連携を強化する取り組みを行っていくとともに、河川に係わる人材育成の支援や環境教育を推進する。</p>
年度	実施回数(回)																
H19	70																
H20	90																
H21	105																
H22	110																
H23	140																
H24	130																
H25	140																

日常からの川と人のつながりの構築

【観点】河川レンジャーの進捗状況

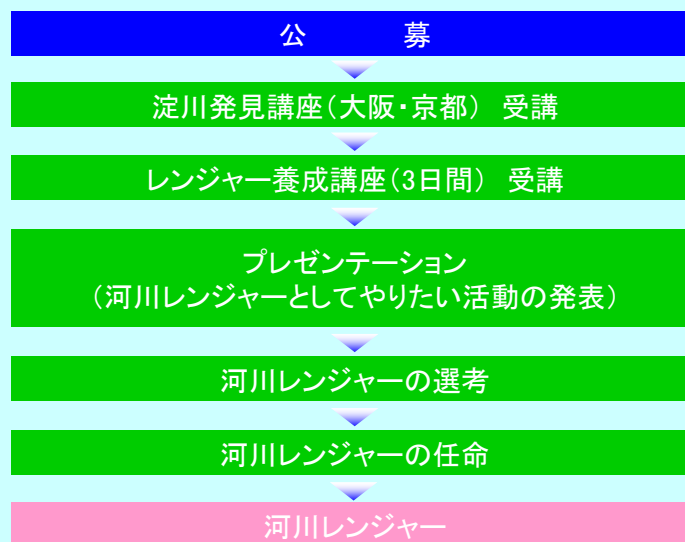
「指標」河川レンジャー選任システム・在籍人数

【河川レンジャー選任システムの紹介】

【淀川河川事務所】

淀川河川事務所管内では、淀川河川事務所の管轄範囲を中心として活動する河川レンジャーになるには、淀川流域に在住または通勤・通学する満18歳以上の男女を対象に実施される淀川発見講座およびレンジャー養成講座を受講し、修了した上で、プレゼンテーション審査を受けることが必要となっている。

プレゼンテーション審査において、代表者会議から推薦を受けた者が、各出張所管内運営会議より河川レンジャーに任命されることとなっている。

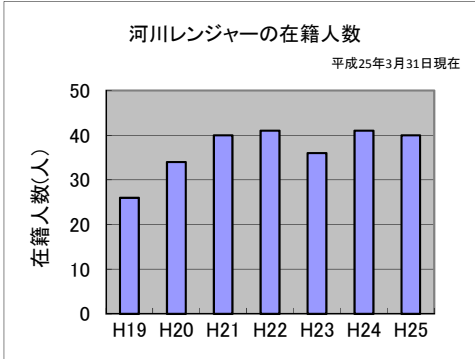


淀川河川レンジャーホームページ <http://www.river-ranger.jp/become/become.html>

日常からの川と人のつながりの構築

【観点】河川レンジャーの進捗状況

「指標」河川レンジャー選任システム・在籍人数

進捗状況	点検結果
<p>(平成25年度の取組)</p> <p>河川レンジャーの充実を示す指標として、平成19年度～平成25年度における河川レンジャーの在籍人数を以下に示す。平成25年度の河川レンジャーの在籍人数は、流域全体で40人となっている。</p>  <p>以下具体的な運営状況を示す。</p> <p>【河川レンジャー代表者会議・運営会議】 (淀川河川事務所)</p> <p>学識経験者や地元見識者、自治体、河川管理者等で構成された中立の立場の「代表者会議」では河川レンジャーの仕組みづくり及び基準づくり、河川レンジャーの審査、「運営会議」においては、河川レンジャーの活動計画、活動報告、及び今後の展開計画(案)の審議並びに河川レンジャーの任命・再任などを行っている。</p> <p>平成25年度は、河川レンジャー代表者会議において「淀川管内河川レンジャー(試行)運営要領」の改正を審議・決定を行った。特に、大学生等若い世代が若干名でのグループ単位で活動を行う「グループ河川レンジャー制度(Gレンジャー)」を、正式に河川レンジャーとして位置づけた。河川レンジャーは、新たに4名の推薦者を決定。Gレンジャーは、2団体を任命した。河川レンジャー運営会議では、推薦された4名の河川レンジャーの任命と、試行期間を経た7名の再任、1期目の任期を満了した3名の再任の審議を行い任命した。</p>	<p>河川レンジャー在籍人数は、再任・退任等があった平成24年度の41名に対し平成25年度は40人となっている。必要人数としては、満足している事務所もあるが、河川レンジャーの規模については、対応分野や活動範囲における適正人数を踏まえ、今後検討が必要である。河川レンジャーの選任については代表者会議等第三者機関による選任を行い、公平な審査のもと実施しているため、選任システムについては定着しつつある。</p>

日常からの川と人のつながりの構築

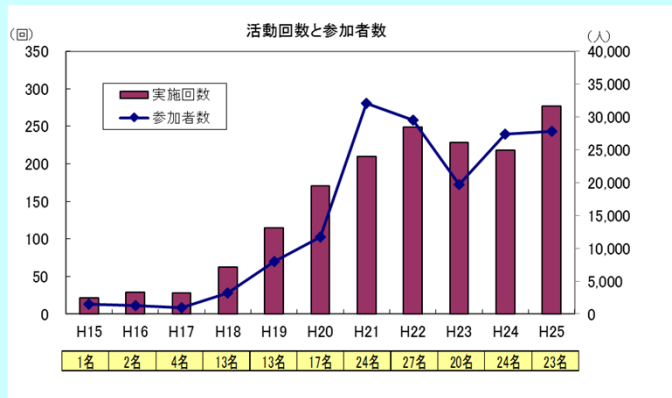
【観点】河川レンジャーの進捗状況

「指標」河川レンジャーと住民・住民団体との交流内容・回数

【河川レンジャーの活動事例】

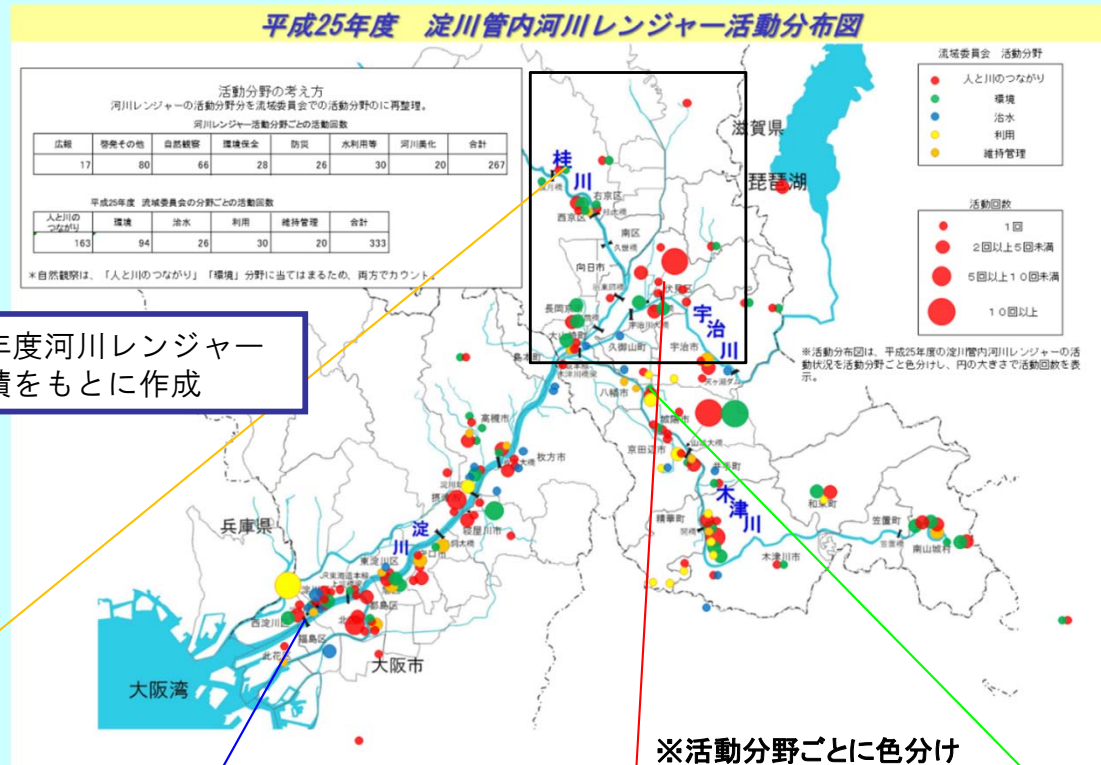
【淀川河川事務所】

淀川河川事務所管内では、各出張所管内毎に河川レンジャーを配置し、沿川全域で活動を行っており、平成15年度から平成25年度にかけてのべ約16万人の人々に淀川の魅力等を伝えてきた。



淀川河川事務所管内の河川レンジャー人数
淀川河川レンジャーホームページ

<http://www.river-ranger.jp/index.php>



平成25年度河川レンジャー活動実績をもとに作成

※活動分野ごとに色分け



桂川クリーン大作戦(桂川)

桂川の渡月橋から三川合流付近までの区域で、桂川上流から下流、支川や本川にいたる多くの住民や団体に参加を呼びかけ、身近な川を美しくする一斉清掃活動を行っています。

■参加人数: 3400名(1回開催)

わがまち防災スクール(淀川)

地位に防災リーダーを育てようとしてスタートした活動です。淀川区の中学校を対象とし、水防工法の体験学習や、災害に対する危機意識の啓発を行います。

■参加のべ人数: 927名(4回開催)

ツバメのねぐら入り観察会(宇治川)

宇治川の素晴らしい自然を知ってもらうため、ツバメのねぐら入り観察会を行い、身近な川にも様々な生き物が暮らしていることを知ってもらい、その環境を守っていくことの大切さを伝えます。

■参加のべ人数: 115名(3回開催)

水質調査出前授業(木津川)

小学校や自治体、地域が開催する学習会などに出向き、児童と水質調査体験を実施しました。汚染の実態を学び、汚染原因を共に考えることで、自然の残る河川を取り戻すにはどのようなことが必要かを共に考えます。

■参加のべ人数: 924名(9回開催)

日常からの川と人のつながりの構築

【観点】河川レンジャーの進捗状況

「指標」河川レンジャーと住民・住民団体との交流内容・回数

進捗状況	点検結果																
<p>(平成25年度の取組)</p> <p>平成25年度は、河川レンジャーと住民・住民団体との交流活動を流域全体で505回実施した。</p> <div data-bbox="577 422 1025 762" data-label="Figure"> <table border="1"> <caption>河川レンジャーと住民等との交流回数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>交流回数(回)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H19</td><td>220</td></tr> <tr><td>H20</td><td>500</td></tr> <tr><td>H21</td><td>510</td></tr> <tr><td>H22</td><td>440</td></tr> <tr><td>H23</td><td>340</td></tr> <tr><td>H24</td><td>410</td></tr> <tr><td>H25</td><td>505</td></tr> </tbody> </table> </div> <p>平成25年度の代表事例を以下に示す。</p> <p>淀川河川事務所管内では、河川レンジャーと協働で、わがまち防災スクール、桂川クリーン作戦、ツバメのねぐら入り観察会、水質調査出前授業など沿川全域でさまざまな分野の活動を行った。</p> <p>「桂川クリーン大作戦」は平成19年度より実施されており、本年度で7回目の開催となった。回数を重ねるごとに参加団体、後援団体等が増加しており、それに伴い実施エリアの拡大も進んでいる。平成25年度参加者は3,400名。</p> <p>「マイ・リバー・ウォーク」は、平成18年度より実施。河川レンジャーが地域住民との橋渡し役となり、桂川下流域の自治会を対象に活動。川まち歩きで桂川環境・防災などの現状と町のつながりを学び、その後のワークショップで課題を見いだし、これからの桂川の川づくりに向けて住民相互の理解を深め、交流する機会を設けている。参加者は19名。</p> <p>「桂川環境を知ろう」は、平成25年度より実施。ヒメボタルの生息環境を通じ桂川環境を学ぶと共に、淀川河川公園基本計画や河川整備計画、それに基づく桂川改修についても解説し、地域への発信・理解の輪拡大を進めている。参加者は22名。</p>	年度	交流回数(回)	H19	220	H20	500	H21	510	H22	440	H23	340	H24	410	H25	505	<p>河川レンジャーは、防災意識啓発、自然観察会、河川関連施設の見学会等、多種多様な活動を行っており、河川レンジャーと住民・住民団体との交流回数は平成24年度は404回であったが、平成25年度は505回であった。河川レンジャーの在籍人数に比例して活動回数も増加しているため、『川と人(住民)、人(住民)と人(行政)を結ぶコーディネーター(橋渡し役)』としての役割を担っていると考えられる。</p> <p>今後、さらに交流の機会を増やす取り組みを行っていくため、河川レンジャーの在籍人数を検討していくとともに、地域住民と河川管理者とが連携しながら河川整備を進めていく上で、河川レンジャーが住民と河川管理者の橋渡し役となるよう活動を支援する。</p>
年度	交流回数(回)																
H19	220																
H20	500																
H21	510																
H22	440																
H23	340																
H24	410																
H25	505																

日常からの川と人のつながりの構築

【観点】子ども達の関わりを促進する取り組みの実施状況

「指標」環境教育等の実施内容・回数

【子供たちの学習事例】

【淀川河川事務所】

淀川河川事務所管内では、各出張所管内毎に河川レンジャーを配置し、沿川全域で活動を行っており、平成15年度から平成25年度にかけてのべ約16万人の人々に淀川の魅力等を伝えてきた。



京都伏見ジュニア河川レンジャーの施設見学

平成25年度 淀川河川レンジャー活動経過報告 <http://www.river-ranger.jp/report/report.php>

出前講座では、水草除去作業を行っている中学生を対象に、6月11日に嵐山で課題となっているオオカナダモなどの外来種の繁茂の状況について説明し、除去作業の重要性を認識してもらう取組を実施し、計237名が参加した。



中学生に作業前の講義

【日吉ダム】

日吉ダムでは、ダム近隣の小学生等の施設見学を実施した。平成25年度は、8校の小学校から約600人の施設見学を受け入れており、ダムの役割や管理の内容について説明し、理解を深めてもらった。



小学生の施設見学(日吉ダム)

日常からの川と人のつながりの構築

【観点】子ども達の関わりを促進する取り組みの実施状況

「指標」環境教育等の実施内容・回数

進捗状況	点検結果																
<p>(平成25年度の取組)</p> <p>平成25年度は、流域全体で84回の環境教育等を実施した。</p> <div data-bbox="488 469 1039 879" data-label="Figure"> <table border="1"> <caption>環境教育等の実施回数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実施回数(回)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H19</td><td>80</td></tr> <tr><td>H20</td><td>95</td></tr> <tr><td>H21</td><td>118</td></tr> <tr><td>H22</td><td>108</td></tr> <tr><td>H23</td><td>92</td></tr> <tr><td>H24</td><td>92</td></tr> <tr><td>H25</td><td>84</td></tr> </tbody> </table> </div> <p>平成25年度の代表事例を以下に示す。</p> <p>淀川河川事務所管内では、流域の小学校等に対し出前講座を実施した。出前講座では、淀川のワンドの成り立ちや河口付近の干潟の説明、ワンドに住む生物の紹介、外来種の増加と在来種の減少、天然記念物の保護活動などを講演し、自然環境の保護について啓発を行った。また、「河川を通じた人づくり・地域ネットワークづくり」を活動のテーマとして地域の子供達を対象にジュニア河川レンジャーとして、未来の河川レンジャーを育てる取組も実施した。</p> <p>桂川沿いの出前講座の事例としては、桂川嵐山地区で水草除去作業を行っている中学生を対象に、嵐山で課題となっているオオカナダモなどの外来種の繁茂の状況について説明し、除去作業の重要性を認識してもらう取組を実施した。</p> <p>日吉ダムでは、小学校8校から延べ約600人の施設見学を受け入れ、日吉ダムの役割や管理の内容について説明し、理解を深めてもらう取組を実施した。</p>	年度	実施回数(回)	H19	80	H20	95	H21	118	H22	108	H23	92	H24	92	H25	84	<p>自然観察会や出前講座、レンジャー活動、小学校、中学校の総合学習への協力を継続的に実施し、実施回数は平成24年度に91回、平成25年度も84回となっている。なお、日頃川へ近づく機会が減少している子ども達に対し、川への関心を持ってもらう良いきっかけにしたいという協力要請が多い。</p> <p>今後も継続して子ども達との関わりを持つ取り組みを実施し、次世代を担う子ども達が、川に対する関心を高めることができる工夫を行うことにより、持続的な川と人とのつながりや地域とのつながりの構築につなげていく。</p>
年度	実施回数(回)																
H19	80																
H20	95																
H21	118																
H22	108																
H23	92																
H24	92																
H25	84																

日常からの川と人のつながりの構築

【観点】情報公開の状況

「指標」情報公開の内容・件数

進捗状況	点検結果																																
<p>(平成25年度の取組)</p> <p>平成25年度の淀川水系に関する行政文書の開示請求文書数は469文書あり、その内、資料不存在の2文書を除く、467文書について開示を行った。</p> <div data-bbox="293 517 869 922" data-label="Figure"> <table border="1"> <caption>情報開示状況 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>開示決定文書数</th> <th>資料不存在数</th> <th>不開示文書数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H19</td><td>70</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>H20</td><td>40</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>H21</td><td>40</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>H22</td><td>420</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>H23</td><td>400</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>H24</td><td>430</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>H25</td><td>470</td><td>0</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> </div> <p>※ 資料不存在数とは、元々存在しない文書資料について開示請求された文書数</p>	年度	開示決定文書数	資料不存在数	不開示文書数	H19	70	0	0	H20	40	0	0	H21	40	0	0	H22	420	0	0	H23	400	0	0	H24	430	0	0	H25	470	0	0	<p>平成25年度は開示請求に対し資料不存在の2文書を除く467文書の開示を行っており、適切に対応している。</p> <p>今後も、制度に基づき適切に対応していく。</p>
年度	開示決定文書数	資料不存在数	不開示文書数																														
H19	70	0	0																														
H20	40	0	0																														
H21	40	0	0																														
H22	420	0	0																														
H23	400	0	0																														
H24	430	0	0																														
H25	470	0	0																														

日常からの川と人のつながりの構築

【観点】情報発信方法の検証

「指標」HP、携帯サイトの内容・利用件数

進捗状況	点検結果																
<p>(平成25年度の取組) 平成25年度のホームページや携帯サイトへのアクセス数(利用件数)は約891万件あった。</p> <div data-bbox="293 501 857 938" data-label="Figure"> <p>HP、携帯サイトの利用件数</p> <table border="1"> <caption>HP、携帯サイトの利用件数 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用件数 (件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>3,500,000</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>3,100,000</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>3,800,000</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>5,800,000</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>5,400,000</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>6,300,000</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>8,910,000</td> </tr> </tbody> </table> </div>	年度	利用件数 (件)	H19	3,500,000	H20	3,100,000	H21	3,800,000	H22	5,800,000	H23	5,400,000	H24	6,300,000	H25	8,910,000	<p>ホームページや携帯サイトの利用件数については、平成22年度から500万件を越え、平成25年度も891万件のアクセスがあり、多くの方々に利用いただいている。</p>
年度	利用件数 (件)																
H19	3,500,000																
H20	3,100,000																
H21	3,800,000																
H22	5,800,000																
H23	5,400,000																
H24	6,300,000																
H25	8,910,000																

日常からの川と人のつながりの構築

【観点】情報発信方法の検証

「指標」HP、携帯サイトにおける新着情報の内容・アップ数

進捗状況	点検結果																
<p>(平成25年度の実績)</p> <p>平成25年度は、ホームページや携帯サイトの新着情報へのアップを327件行った。</p> <div data-bbox="286 504 846 962" data-label="Figure"> <table border="1"> <caption>新着情報のアップ数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>アップ数(件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H19</td><td>335</td></tr> <tr><td>H20</td><td>355</td></tr> <tr><td>H21</td><td>315</td></tr> <tr><td>H22</td><td>305</td></tr> <tr><td>H23</td><td>335</td></tr> <tr><td>H24</td><td>275</td></tr> <tr><td>H25</td><td>330</td></tr> </tbody> </table> </div>	年度	アップ数(件)	H19	335	H20	355	H21	315	H22	305	H23	335	H24	275	H25	330	<p>新着情報については平成25年度は327件と平成24年度に比べ、増加している。</p> <p>今後も、多くの人々が河川に関心を持ち、川を訪れるよう、河川に関する情報を様々な手段で発信する取り組みを進めていく。</p>
年度	アップ数(件)																
H19	335																
H20	355																
H21	315																
H22	305																
H23	335																
H24	275																
H25	330																

日常からの川と人のつながりの構築

【観点】情報公開・発信に関する職員の意識向上

「指標」研修等の内容・開催数

【広報に関する研修事例】

近畿地方整備局では平素行っている広報について、“伝える”から“伝わる”を実践できることを目的に平成25年9月に講習会を開催した。講習会では災害等における広報担当者を対象として講師に時事通信社の記者を招き、

- ①「広報文の作り方」
- ②「広報に役立つ写真の撮り方」

等について、参加した約70名の職員に対し留意点を具体的に説明していただいた。

「広報文の作り方」留意点

- ・市民目線が重要
- ・記者は素人、分かりやすい広報文を
- ・専門用語は控える
- ・タイトルにこだわる

「広報に役立つ写真の撮り方」留意点

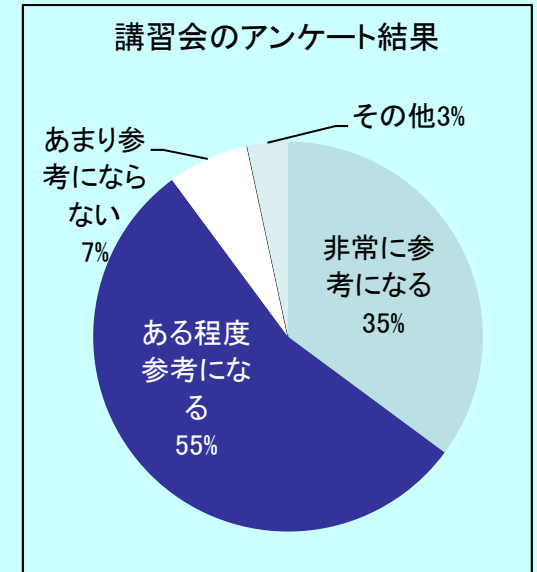
- ・高価なカメラでなくても効果的な撮影は可能
- ・写真は出来るだけトリミングを
- ・被災写真には現地の人の様子も一緒に
- ・構図に二つの要素の対比を配置※



報道写真を実例に解説
※二つの要素の対比の実例



70名の職員が受講



約9割の受講者が参考になったと評価。

進捗状況	点検結果
<p>(平成25年度の取組)</p> <p>平成25年度は、広報担当者を対象として災害時の広報や写真の撮り方についての研修会を開催した。</p>	<p>情報公開や発信に関する意識向上につながるよう、職員に対する研修の中で指導を実施した。</p> <p>今後も職員の意識の向上に取り組んでいく。</p>

日常からの川と人のつながりの構築

【観点】意見聴取手法の開発に向けた取り組み

「指標」住民、住民団体との交流内容・回数

【事業説明の実施事例】

【淀川河川事務所】

平成25年台風18号出水を受けて桂川の緊急治水対策について、沿川地元自治連合会等に事業説明会及び現場見学会等を行った。



事業説明会



現場見学会

【日吉ダム】

日吉ダムでは、一般住民や関係機関への説明会を実施した。また、ダム下流域の市議会議員の視察及び研修を受け入れ、日吉ダムの役割や管理の実態について理解を深めていただいた。



一般住民を対象にした施設見学



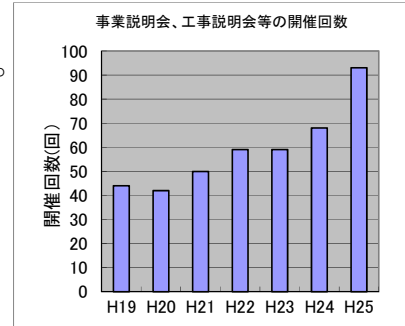
ダム下流域の市議会議員へ
平成25年台風18号時のダム操作を説明

日常からの川と人のつながりの構築

【観点】意見聴取手法の開発に向けた取り組み

「指標」住民、住民団体との交流内容・回数

進捗状況	点検結果
<p>(平成25年度の取組)</p> <p>平成25年度は、流域全体で93回の事業説明会、工事説明会、ワークショップ等を実施した。</p> <p>各事務所では事業説明会、意見交換会等を実施した。平成25年度の代表事例を以下に示す。</p> <p>淀川河川事務所管内では、平成25年台風18号出水を受けて桂川の緊急治水対策における事業説明会等を実施した。</p> <p>琵琶湖河川事務所では、住民主催イベントと協働で、琵琶湖・瀬田川の説明や、瀬田川洗堰操作室見学会などの事務所事業の説明を行った。</p> <p>木津川上流河川事務所管内では、服部川右岸引堤に関する事業説明会、遊水地事業の説明を行う遊水地連絡協議会、高岩井堰魚道改良に向けた意見交換会を実施した。</p> <p>猪名川河川事務所管内では、工事実施に向け地元工事説明会及び漁業協同組合意見交換会を実施した。</p> <p>淀川ダム統合管理事務所管内では、平成22年度から天ヶ瀬ダムにおける低周波音調査を実施し、その結果及び専門家の見解について説明を行っている。また、住民協働における意見交換会を、宇治観光ボランティアガイドクラブと2回(8・10月)、フォレスターうじと1回(10月)、大石地区自治会・PTA等と2回(6・3月)実施した。</p> <p>一庫ダムでは、猪名川流域水道事業管理者連絡協議会や猪名川水質協議会等の場においてダム管理の概要を説明するとともに、一庫ダム河川環境復元に向けての取り組みに関する意見交換会(5月)を実施した。また、府県や市町など17機関の視察を受け入れ、一庫ダムの役割や管理の実態について説明を実施した。</p> <p>日吉ダムでは、一般住民や関係機関への説明会を実施した。またダム下流域の市議会議員の視察及び研修を受け入れ、日吉ダムの役割や管理の実態について理解を深めてもらう取組を実施した。</p>	<p>住民、住民団体との意思疎通の場は平成24年度は68回、平成25年度は93回と増加してきている。</p> <p>今後も、住民等の意見を聞きながら意見聴取の手法の開発に取り組む。</p>



日常からの川と人のつながりの構築

【観点】小径(散策路)、「歴史文化の薫る散歩道(仮称)」の整備状況

「指標」小径(散策路)の整備内容・延長(利用と指標が重複)

桂川では進捗なし。

進捗状況	点検結果																
<p>(平成25年度の取組)</p> <p>平成25年度は小径(散策路)を1.4km整備した。全体計画285.9kmのうち、平成25年度末までに198.2km(整備率69%)が整備済みであり、残区間は87.7kmとなった。</p> <div data-bbox="286 635 945 1050" data-label="Figure"> <table border="1"> <caption>小径(散策路)の整備延長(累計)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>整備延長(km)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>~H19</td> <td>190.5</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>193.5</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>196.0</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>197.0</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>197.0</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>197.0</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>198.2</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>点検項目「憩い、安らげる河川の整備」の[指標]小径(散策路)の整備内容・延長と重複掲載</p>	年度	整備延長(km)	~H19	190.5	H20	193.5	H21	196.0	H22	197.0	H23	197.0	H24	197.0	H25	198.2	<p>今後も、各整備箇所の特性を考慮した整備内容を検討し、推進を図り、川とまち・地域間の水辺のネットワークの形成に努めるとともに、琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会において、関係機関と広域的な水辺の散策路ネットワークについても調整を図り、利用者の視点に立った活用促進方策について検討していく。</p>
年度	整備延長(km)																
~H19	190.5																
H20	193.5																
H21	196.0																
H22	197.0																
H23	197.0																
H24	197.0																
H25	198.2																

日常からの川と人のつながりの構築

【観点】憩い、安らげる河川を目指した河川事業の実施状況

「指標」バリアフリー化の内容・実施箇所数(利用と指標が重複)

河川を安心して利用できる整備内容・箇所数(利用と指標が重複)

桂川では進捗なし。

進捗状況	点検結果																																
<p>(平成25年度の取組)</p> <p>平成25年度はトイレ及びスロープの更新はなかった。ただし、平成25年9月出水等により、トイレ10箇所が破損等で使用できなくなっており、平成26年度以降順次更新・修理を予定している。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="118 751 598 1110"> <p>トイレの設置数(累計)</p> <table border="1"> <caption>トイレの設置数(累計)</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>設置数</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H19</td><td>92</td></tr> <tr><td>H20</td><td>95</td></tr> <tr><td>H21</td><td>92</td></tr> <tr><td>H22</td><td>91</td></tr> <tr><td>H23</td><td>92</td></tr> <tr><td>H24</td><td>92</td></tr> <tr><td>H25</td><td>85</td></tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="647 751 1126 1098"> <p>スロープの設置数(累計)</p> <table border="1"> <caption>スロープの設置数(累計)</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>設置数</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>~H19</td><td>13</td></tr> <tr><td>H20</td><td>15</td></tr> <tr><td>H21</td><td>15</td></tr> <tr><td>H22</td><td>15</td></tr> <tr><td>H23</td><td>15</td></tr> <tr><td>H24</td><td>18</td></tr> <tr><td>H25</td><td>18</td></tr> </tbody> </table> </div> </div> <p>点検項目「憩い、安らげる河川の整備」の[指標]バリアフリー化の内容・実施箇所数と重複掲載</p>	年度	設置数	H19	92	H20	95	H21	92	H22	91	H23	92	H24	92	H25	85	年度	設置数	~H19	13	H20	15	H21	15	H22	15	H23	15	H24	18	H25	18	<p>河川内で子どもや高齢者でも安心して利用でき、多くの人が気軽に集うことができる場となるよう、トイレを92箇所、スロープを18箇所設置していたが、利用者からトイレについては「臭い、汚い」との意見が多いため、平成22年度以降は昭和56年度以降に設置されたスチール製トイレを簡易水洗式のFRP製トイレに更新している。また、平成25年9月出水等により、使用できなくなったトイレについては順次更新・修理していくこととしている。</p> <p>今後も安心して、気軽に利用できる場として整備を進めるとともに、施設整備にあたってはバリアフリー化を進める。</p>
年度	設置数																																
H19	92																																
H20	95																																
H21	92																																
H22	91																																
H23	92																																
H24	92																																
H25	85																																
年度	設置数																																
~H19	13																																
H20	15																																
H21	15																																
H22	15																																
H23	15																																
H24	18																																
H25	18																																

日常からの川と人のつながりの構築

【観点】三川合流部の整備状況

「指標」三川合流部交流拠点の整備内容(利用と指標が重複)

桂川では進捗なし。

進捗状況	点検結果
<p>(平成25年度の取組)</p> <p>平成25年度は淀川河川公園背割堤地区及び淀川三川交流拠点施設を中心とした淀川三川合流域の地域活性化に有用なイベント等の企画及び実証実験を行い、その結果を検証した。</p> <p>点検項目「まちづくり・地域づくりとの連携」の〔指標〕三川合流部の拠点の整備内容</p>	<p>「淀川三川合流域地域づくり構想」の実現に向けて、交流活動や関係機関との調整を着実に実施している。</p> <p>今後さらに「淀川三川合流域地域づくり推進協議会」にて自治体間や地域との連携を深めつつ、「淀川三川合流域地域づくり構想」の実現に向け、三川合流部の整備の具体化に向けて関係自治体・民間事業者等と連携した実証実験・意見交換会を実施し、検討を推進する。</p>

洪水・災害時の人と川とのつながりの構築

【観点】破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の整備状況

「指標」まるごとまちごとハザードマップ、浸水実績及び想定表示看板設置内容・設置数(治水と指標が重複)

桂川では進捗なし。猪名川では進捗があるため、第3回で説明。

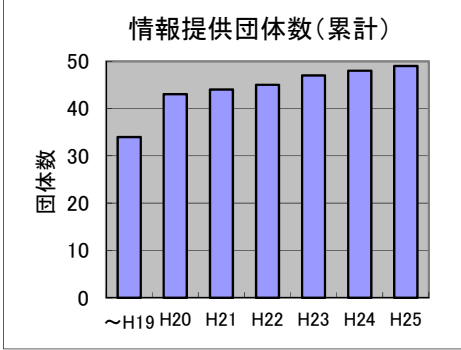
進捗状況	点検結果
<p>(平成25年度 of 取組)</p> <p>平成25年度は、城陽市で5箇所、伊賀市で1箇所、伊丹市で1箇所、池田市で1箇所、川西市で8箇所のまるごとまちごとハザードマップを設置した。平成25年度末時点の整備済箇所は以下のとおりである。</p> <p>浸水想定区域表示看板(26箇所) (大阪市、京都市、草津市(試行)等)</p> <p>まるごとまちごとハザードマップ(157箇所) (八幡市(4)、宇治市(70)、大山崎町(4)、長岡京市(6)、向日市(9)、久御山町(9)、摂津市(2)、城陽市(5)、伊賀市(1)、尼崎市(9)、伊丹市(6)、池田市(5)、川西市(27))</p> <p>点検項目「危機管理体制の構築」の[指標]まるごとまちごとハザードマップ、浸水実績及び想定表示看板設置内容・設置数と重複掲載</p>	<p>万一の堤防決壊に備え、避難誘導と危機意識の醸成に資するため、まるごとまちごとハザードマップ及び浸水実績表示看板等の設置が進んでいる。</p> <p>今後も関係自治体と連携してさらにまるごとまちごとハザードマップ及び浸水実績表示看板等の設置を進めていく必要がある。</p>

洪水・災害時の人と川とのつながりの構築

【観点】破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の整備状況

「指標」自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制の基盤整備内容・団体数(治水と指標が重複)

桂川では進捗なし。猪名川では進捗があるため、第3回で説明。

進捗状況	点検結果
<p>(平成25年度の取組)</p> <p>平成25年度は、新規に1団体へ情報提供を始めた。 平成25年度までの累計では、49団体と増加している。</p>  <p>また、平常時から危機管理能力の向上を図るため、堤防の決壊を想定したシミュレーション訓練、総合防災演習及び陸閘の操作訓練を自治体や水防団と連携して実施した。 自治体や水防団と水防連絡会を開催し、沿川の危険箇所や災害時の連絡体制等について情報交換を行った。</p> <p>点検項目「洪水・災害時の人と川とのつながりの構築」の[指標]自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制の基盤整備内容・情報共有団体数と重複掲載</p>	<p>関係機関へ光ファイバー等を接続することにより、河川情報や画像情報を確実に提供でき、情報提供している団体数も増加している。 また、訓練や連絡会を通じて、関係機関との連携が図られている。</p> <p>今後も関係自治体等と連携してさらに避難体制の基盤整備の支援や情報共有の促進及び関係機関との連携に取り組んでいく。</p>

洪水・災害時の人と川とのつながりの構築

【観点】関係機関との連携状況

「指標」協議会等の設置状況(治水と指標が重複)

【協議会の設置状況】

【淀川河川事務所】

マイ防災マップの作成手順書 水害編(案) 自治体職員向けの作成、住民の適切な避難に向けた「取組のポイント集」(案)の作成、「水位予測情報の活用の手引き」(案)の作成等の様々な活動を実施している。



○第1回行政WG会議 議題
・平成25年度活動方針



○第3回行政WG会議 議題
・本年度の活動成果の報告
・首長会議に向けた調整



○第2回行政WG会議 議題
・本年度の活動状況の中間報告



○首長会議 議題
・「台風18号により各市町において明らかになった課題」について

7月16日、17日
第1回行政WG会議
●平成25年度の活動の提案



9月10~12日
ブロック別会議
西大阪治水ブロック 京都・乙訓土木ブロック
茨木土木ブロック 山城北土木ブロック
枚方土木ブロック 山城南土木ブロック
●平成25年度の活動に対する意見収集



1月20日、22日
第2回行政WG会議
●平成25年度の活動の中間報告



2月21日、26日
第3回行政WG会議
●平成25年度の活動報告



3月14日、20日
首長会議

洪水・災害時の人と川とのつながりの構築

【観点】関係機関との連携状況

「指標」協議会等の設置状況(治水と指標が重複)

進捗状況	点検結果
<p>(平成25年度の実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・淀川河川事務所管内においては、平成25年度は、首長会議2回、ワーキンググループ6回、地域住民・自治体職員の防災意識向上を目的とした講演会・研修会を5回実施し、水害に対する備えについて情報提供をおこなった。 ・琵琶湖河川事務所管内においては、平成25年度は、高島地域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会を1回開催した。 ・猪名川河川事務所管内においては、平成25年度は、流域の都市化に伴い治水の安全度が低下している猪名川流域において、土地の適正な利用計画等、総合的な治水対策のための諸施策を協議のうえ策定し、かつその施策を推進することにより水害を防止し、また軽減を図ることを目的とした、猪名川流域総合治水対策協議会、幹事会を各1回開催した。 ・木津川上流河川事務所管内においては、平成25年度は木津川流域での協議会発足に向けて調整を行っており、三重県、伊賀市、木津川上流河川事務所の3者で準備に向けた打合せを平成26年2月21日に実施した。 <p>点検項目「危機管理体制の構築」の[指標]水害に強い地域づくり協議会実施内容・開催回数と重複掲載</p>	<p>各事務所管内において、水害に強い地域づくり協議会の設立が進んでおり関係機関との連携が進められている。</p> <p>今後も、定期的に各協議会を開催することにより、関係自治体との連携を強化していく。</p> <p>なお、協議会が未設置の地域では、早期設置を図る。</p>

上下流の連携の構築

【観点】水源地域ビジョンの推進状況

「指標」水源地ビジョン策定とその後の活動内容・回数(利用と指標が重複)

【水源地市町村等のPR活動】

【淀川ダム統合管理事務所】

平成25年10月12日～11月10日に淀川資料館において開催された「秋の特別企画展～治水の転機となった戦後最大洪水から60年～いま考える水害への備え」と連携し、展示ブースを設置して淀川水系各ダム及び水源地域の各市町村のパネル展示、パンフレット配布等を行った。

期間中、約1000名の方々が来訪され、水源地に対する理解を深めていただける機会になった。



淀川水系ダム水源地ネットワークホームページ
<http://www.kkr.mlit.go.jp/yodoto/yynet/index.html>

【ダム周辺地域の清掃活動の状況】

【日吉ダム】

日吉ダムにおいて、水源地域ビジョン連絡会の連携活動の取り組みとして、集中取組期間(9月～11月)を設けて関係機関によるダム周辺地域の清掃活動を実施した。平成25年度は、44名の方に参加をいただいている。



上下流の連携の構築

【観点】水源地域ビジョンの推進状況

「指標」水源地ビジョン策定とその後の活動内容・回数(利用と指標が重複)

進捗状況	点検結果																																																																																				
<p>(平成25年度の取組)</p> <p>平成25年度は、水源地域ビジョンの取り組みとして、貯水池周辺清掃に約1,000人(16回開催)、施設見学会に約4万1千人、ホテル鑑賞会に5人が参加している。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="125 451 645 842"> <table border="1"> <caption>貯水池周辺清掃</caption> <thead> <tr> <th>開催回数</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12回</td> <td>1,300</td> <td>800</td> <td>850</td> <td>800</td> <td>950</td> </tr> <tr> <td>25回</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>21回</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>19回</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>16回</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="696 451 1216 842"> <table border="1"> <caption>施設見学</caption> <thead> <tr> <th>参加人数(人)</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>60,000</td> <td>60,000</td> <td>70,000</td> <td>50,000</td> <td>45,000</td> <td>40,000</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="1267 451 1742 842"> <table border="1"> <caption>ホテル鑑賞会</caption> <thead> <tr> <th>開催回数</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2回</td> <td>140</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>150</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>1回</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1回</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1回</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1回</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div> </div> <p>また、平成25年度の個別の取組としては、以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> 天ヶ瀬ダムでは、宇治観光ボランティアガイドクラブとともに、天ヶ瀬ダムを広く国民に知っていただき、あわせて、天ヶ瀬ダムを観光資源として活用していただくことを目的とした協働事業における施設見学を実施した。 淀川水系のダム水源地が広域的に連携して、ダムや水源地への理解を深め、関心を高揚させるための情報発信並びに水源地の地域振興等を図ることを目的として、青蓮寺ダム管理所及び、比奈知ダム管理所において現場視察と意見交換会を実施した。 水源地に対する理解を深めて頂くため、淀川資料館に展示ブースを設置し、淀川水系各ダム及び水源地域の各市町村のパネル展示、パンフレット配布等を実施した。 日吉ダムにおいて、水源地域ビジョン連絡会の連携活動の取り組みとして、集中取組期間(9月～11月)を設けて関係機関によるダム周辺地域の清掃活動を実施した。 木津川ダム群において、水源地域ビジョンの実行連絡会を4回開催し、関係自治体、機関等が平成24年度の実施報告並びに平成25年度の計画報告を行った。 また、各ダムにおいて施設見学会を実施した。 一庫ダムにおいて、水源地域ビジョン推進協議会による廃棄物の有効活用やゴミの減量への意識を高める事を目的に、ダム湖に流入した流木を利用した「美しい猪名川 流木ペインティング大会」を実施。(8月) <p>点検項目「上下流の連携の構築」の[指標]水源地域ビジョン策定とその後の活動内容・回数と重複掲載</p>	開催回数	H21	H22	H23	H24	H25	12回	1,300	800	850	800	950	25回						21回						19回						16回						参加人数(人)	H21	H22	H23	H24	H25	60,000	60,000	70,000	50,000	45,000	40,000	開催回数	H21	H22	H23	H24	H25	2回	140	50	50	150	5	1回						1回						1回						1回						<p>水源地域ビジョンを策定し連絡会等により各施策が実施され、各行事には多数の参加者が訪れている。</p> <p>また、ダム周辺では施設整備が進められ利用者の利便性が向上するとともに、湖面利用の促進に取り組んでいる。</p> <p>今後も関係機関と連携しダム施設見学会、ダム湖周辺におけるマラソン大会、水源地域域の植林活動、間伐材の利用促進、水質保全対策の実施や不法投棄対策の実施など水源地域ビジョンの取り組みを継続的に推進する。</p> <p>また、ダム周辺施設の整備や湖面利用促進策を進めていく。</p>
開催回数	H21	H22	H23	H24	H25																																																																																
12回	1,300	800	850	800	950																																																																																
25回																																																																																					
21回																																																																																					
19回																																																																																					
16回																																																																																					
参加人数(人)	H21	H22	H23	H24	H25																																																																																
60,000	60,000	70,000	50,000	45,000	40,000																																																																																
開催回数	H21	H22	H23	H24	H25																																																																																
2回	140	50	50	150	5																																																																																
1回																																																																																					
1回																																																																																					
1回																																																																																					
1回																																																																																					

上下流の連携の構築

【観点】上下流交流を促進するための活動状況

「指標」交流(水源地ネットワーク)実施内容・回数

【淀川水系ダム水源地ネットワーク】

「淀川水系ダム水源地ネットワーク」では、平成25年10月12日～11月10日に淀川資料館において開催された「秋の特別企画展～治水の転機となった戦後最大洪水から60年～いま考える水害への備え」と連携し、展示ブースを設置して淀川水系各ダム及び水源地地域の各市町村のパネル展示、パンフレット配布等を行った。

期間中、約1000名の方々が来訪され、水源地に対する理解を深めていただける機会になった。



淀川わいわいネット

<http://www.kkr.mlit.go.jp/yodoto/yynet/index.html>

進捗状況

(平成25年度の取組)

平成25年度は淀川水系ダム水源地ネットワークの活動として、青蓮寺ダム・比奈知ダムにおいて意見交換会を実施した。また、淀川資料館において、淀川水系の各ダム及び水源地地域の各市町村のパネル展示を行った。

点検結果

継続的に各種交流イベントが開催されており、上下流交流の促進が期待される。

今後も、淀川水系ダム水源地ネットワークの活動を推進し、さらなる上下流交流の促進を目指す。